

2022年1月中旬 配本予定

予価:2500円+税

280頁/A5版変型/並製/日英バイリンガル

テキスト: 與那覇潤、能勢陽子 (豊田市美術館)

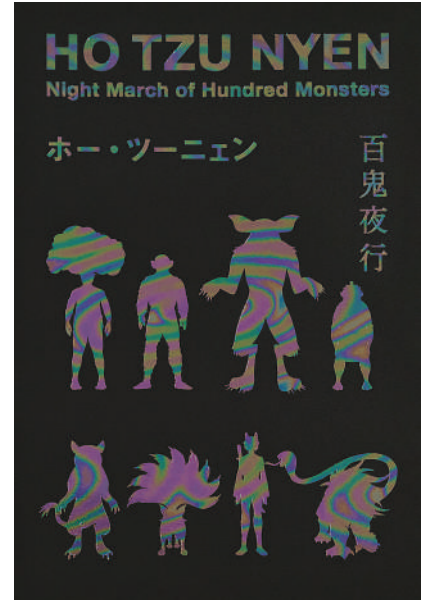
デザイン: 林 琢真

ISBN978-4-907562-33-5 C0071

『ホー・ツーニエン 百鬼夜行』

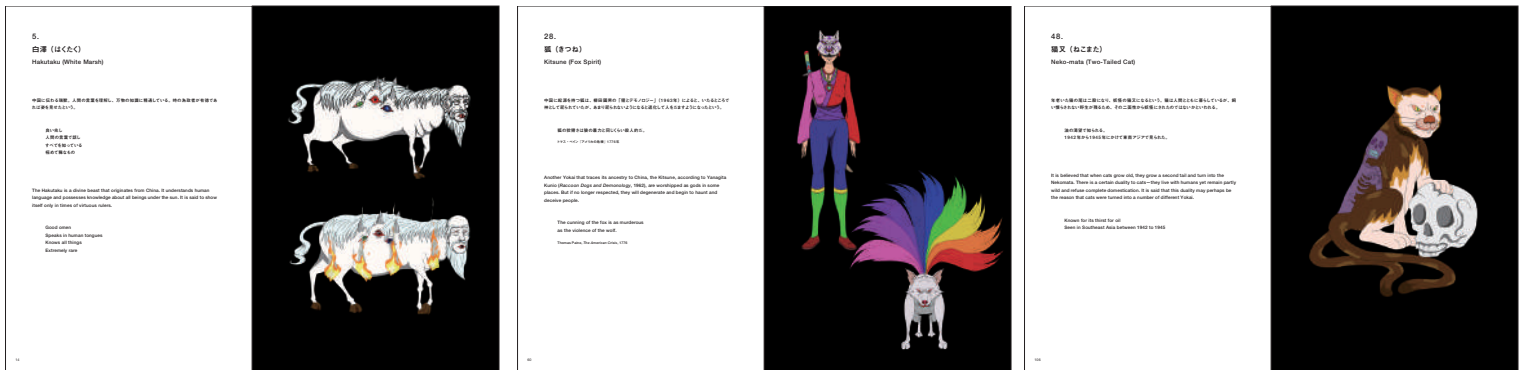
ホー・ツーニエンは、映像、インスタレーション、サウンド、演劇といった多領域を横断しつつ、時に妖艶に、時にダイナミックに観る者を魅了しながら、出身地のシンガポールを軸にアジアを舞台にした作品を展開しています。豊田市美術館で開催中の「ホー・ツーニエン 百鬼夜行」展(～1月23日)では、アニメーションを用いて、奇怪かつ滑稽な100の妖怪たちが闇を練り歩きます。そこには、第二次世界大戦中にマレー(シンガポールは1963年にマレー連邦から独立)で活動した日本人も、妖怪たちの姿を借りて登場します。ともに「マレーの虎」の異名で呼ばれた山下奉文(ともゆき)大将と60年代のヒーロー番組「怪傑ハリマオ」のモデルになった谷豊を中心に、その周囲で暗躍した軍人やスパイ、そして当時の思想家たち。日常の裂け目から現れる妖怪は、魔に魅入られた時代を映し出すでしょう。

恐怖と好奇心で大衆の心を惹きつけてきた妖怪は、伝承と科学、自然と超自然、忘却と郷愁の間で、時代とともに揺れ動いてきました。近代以降に消えた妖怪とそれ以降に世界を席卷した戦争、そして現代の日本文化—この過去と現代が交わる地点に、複雑な日本の歴史や精神史が浮かび上がります。本展覧会図録となる本書では、100の妖怪たちを紹介するガイドであり、展覧会に込められた多様で複雑なエレメンツを読み解く書でもあります。



表紙イメージ

中ページイメージ



ホー・ツーニエン (HO TZU NYEN) / 1976年シンガポール生まれ。映画作家、ヴィジュアル・アーティスト。神話の構造や歴史、伝承、物語の探究を通じて作品を制作し、ビデオ、執筆、演劇など様々な形式で発表する。主な個展に森美術館 (2012)、ビルバオ・グッゲンハイム美術館 (2015～16)、国際展に第54回ヴェネチア・ビエンナーレ (2011年) など。演劇作品はウィーン芸術週間、テアター・デア・ヴェルトなどで上演され、映画はカンヌ国際映画祭などで上映されている。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922 mail:info@tsubamebook.com TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印) ご担当: 様	新刊 torch press	www.torchpress.net 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
	注文数	
新刊『ホー・ツーニエン 百鬼夜行』		
ISBN978-4-907562-33-5 C0071 予価2,500円+税		